

伊豆大島における キョン対策について



東京都環境局

- 東京の面積の約36%は自然公園であり、約32%は鳥獣保護区
- 島しょ部に限ると、自然公園が約84%、鳥獣保護区は約91%
- こうした地域には、生物多様性に富み、希少な動植物が多数存在



三原山（大島）



南島（小笠原）



アカコッコ（三宅島）



ハジヨウジメギク（八丈島）

外来生物は、島しょ部の農産物や希少な動植物に、被害をもたらしている。



クリハラリス



ノヤギ



ツバキ



植物の食害による表土流失

特に大島のキヨンは近年生息数が急増



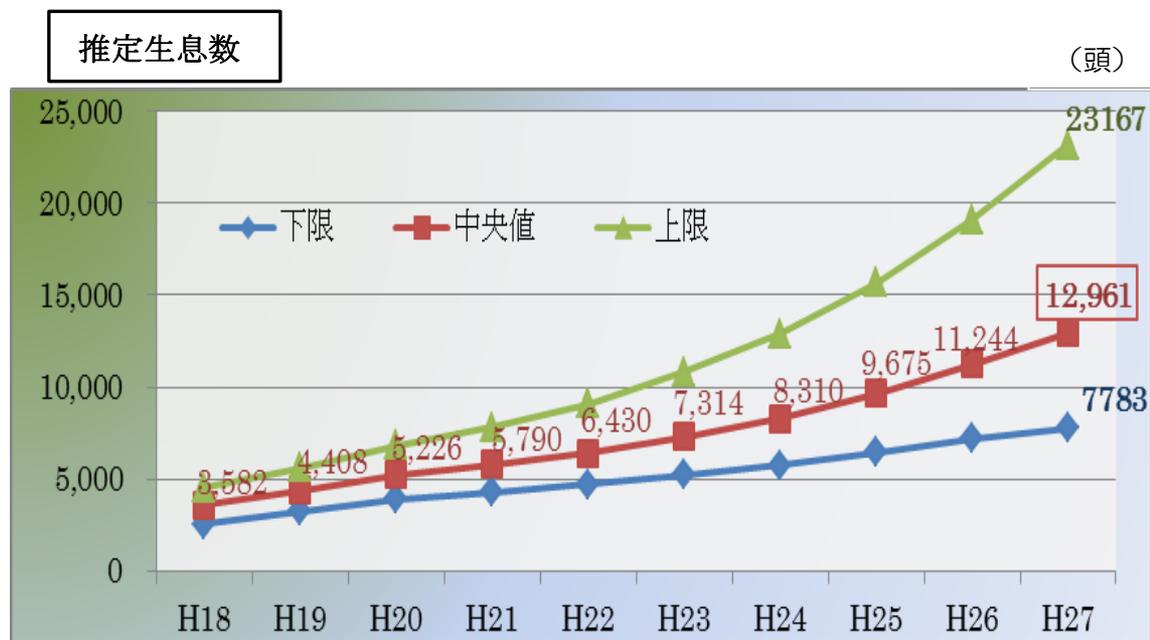
キヨン（雄）



特産物アシタバ食害



希少種コ克蘭食害



- キヨンは生後1年以内に繁殖に参加し、通年繁殖
- 年間で約2割～3割増殖すると言われている。
- 国が採用している新しい統計手法であるベイズ法により推定

大島の自然を守るために対策を実施



張り網

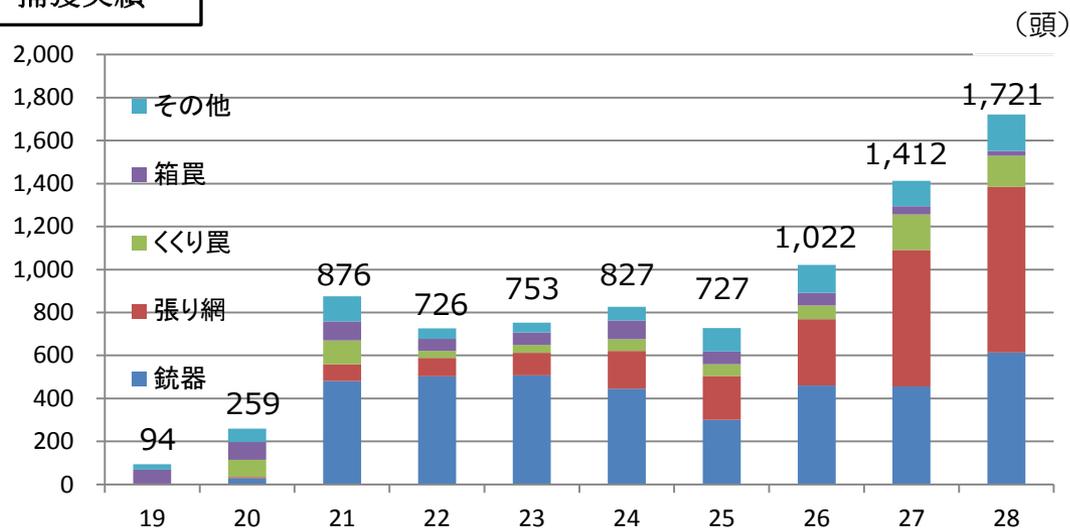


囲い込み柵・捕獲者



箱わな

捕獲実績



※平成28年度は、1月末実績

- 捕獲手法は、銃器と張り網によるものが約8割
- 平成28年度から緊急対策として、囲い込み柵の設置等捕獲を強化。1月末現在捕獲頭数 1,721頭
- 平成29年度は、箱わなの設置数を大幅に増やす等さらに対策を強化